

アジア局長 第二課長 牛

浮島丸事件に因する

との合議要旨

(昭二九・一・三。
亜二課)

アジア局第二課長

一月二十九日 午後二時 在日本朝鮮解放

救援会中央総本部副委員長

カニ名

終止 従い

アジア二課を来訪し

中 浮島丸事件に因し、三谷及び前田

との間と要旨つきのとおり議合した。

外務省

29.2.10



一、予がわが方より

先般申入れられた^(イ)浮島丸引揚作業に費下ら

立金わたいたし^(ロ)要求及び浮島丸死亡者名表の

提示要求について、外務省はいかうの意味に

おいても本件の主管官庁とは考えられたい。従つ

て立金を許可する立場にはなく、死亡者名表を

見せることも出来ない。飯野海運が大蔵省から

船体の下下りを受けるに際しては、中がや遺体の扱

いに鄭重にござしとの注意を受けおるに遠いなく、作業

はその趣旨を体して行われたいものがあるか、外務

省としては今直ちにこれに貴下らと立合わせるよう指

示す立場はない、そのようを要求は貴下らに現地

で民間のベイスンが話をつけられるべき筋のもの

あつ、
し、政府がとやかというべき問題ではないと思う、

手紙、死七者名簿が、必要であるのならば、主管官
庁に、ヤニ復興局が直接貴下りの要求にたが
うはずであり、われわれとしては、特にこれを取次ぐ
こともない、外務省としては、韓国代表部から
でも問題を提起されたのであれば、本件に關与
すべし、今のところ、貴下りの要求に、
直接たが
立場にはないと考える

旨説明した。

二、
[redacted] らはこれに対し、外務省が本件を正面

からとりあげておいたことには明らかと失望の色を
示しつつ、

勿論われわれとしては、飯野等に対し、現地

に立会いの要求を続けるし、御話のとおり、

復貨局に対し死七者の名義の提示を求め

であらう。しかし、わきわきと特に外務省に参

別にある。

つて理由は、飯野が今般作業開始を許され

たのは、才二護負局、
浮島丸内にもう

遺作が少しも残存しないとの公式調査結果

に基づいてある。しかも、わかちあふ、一月中

の作業過程において、既に十二柱の遺骨が登

見され、いふではないか、また、すむと発見され

に遺体五十二柱といはれ、慰霊祭を行はる

埋葬したと称してゐるが、埋葬地は、舞鶴

港の埋立工事によつて削りとられ、最近調べ

たところでは三十二柱しか残らぬが、二十柱は

もはや行方不明といはれ、始末はあきらめられ

る有様では朝鮮人として日本側の扱ひに

疑ひを感ぜざるを得ない、しかも

作業
平事は
旅

然ガイナマイトを使用し、繞けられ、わ
わわは憂慮にたえず、現地にないところあり
お作業の中止方を申入れがあるが、関係者
は、上司や中央からの指示を乞ふこと、一向とり
あわさず、やむなくわわは作業を中止し、問題
を中央にもつて来たものがある。かかる事実が
あるにもかゝらず、日本政府はいし外務省

が、これを所管外と称してとりあつかうべき
 は遺憾である。事は緊迫している、われわれは
 根本的に、李ライン問題で日本人の対朝鮮人
 感情が激化している際を狙って、浮島丸引
 揚作業に着手した日本政府の意図は不
 信の感といわねばならぬ。われわれは浮
 島丸で日本人も二十五名が死んでいるから、

何かうやむやに言ふこともあつた指

摘し、あく、日本政府はこの際かかる具作

的をケースを一つづつ円満に納得かくし解

種々の誤解のみならず

決して行くことにより、本件をめぐり日鮮両民

根源の確執を解

族間の誤解を消するに努むべ

まひけないか

と述べた。

三、わが方はこれに對し、李ライン問題に於て日

本の對驛感情が激化した時と狙つて云々

言葉は全く貴方の思ひ通りである

説

示しの上、作業着手後に遺作が認め

されたい。事業や埋葬した事

作が工事

の進行方不明と云々といわれることは、勿

論外務省の重大な関心を惹くものがある。

しかし、それはあくまで貴方の一方的を申す

に過ぎないものがある。われわれと調査

確認をすれば、今直ちに何ともいえ

外務省は貴方の要求に従うというこ

を、独自に関係省について本件の経緯

を調査する意向がある旨明らかにして

彼らは、本日直ちにでもこれを復査局に送

たいのふりあるが、二のうきふりて物あはれと

をふふふあり、外務省の考え方が復員

局に反映してからの方がよいと思われ(思)

外務省 ^は 一俵 ^は 頃復員局に對し本

件の調査資料等を求めらるやとて

して、あの方には對し、とてかく ~~本件~~

~~本日の貴方の話と~~ 本日の貴方の話と有て上司に

報告し、問題の処理方針を検討した上と
なつたから、東通にでもなつて復興局等
とあかやう見えない旨述べたと、復興局
本件に關する、外務省の積極的態度を
重ねる要を認めて辭去した。